

北秋田市民病院（仮称）建設事業について

北秋田市民病院基本設計

現在は、基本設計に基づいて実施設計の作成に取り組んでおり、今後、建築工事へと進むこととなります。
 病院建設について市民の皆様にご理解頂くため「基本設計」の内容についてお知らせします。

部門構成計画

●部門構成計画

建物は円弧状に展開した病棟と、北側に広がる診療棟により構成されています。メインエントランスは建物の東側の病棟と診療棟との結節点となります。また、メインエントランスの奥に、主要な縦動線となるエレベーターホールがあり、上階への病棟や診療棟へのアプローチはここから行います。

●平面計画

・初診患者や訪問者がわかりやすいよう、医事課は玄関エントランスホールの「北欧プラザ」の西側に面しています。また薬剤部門は医事課と総合待合に隣接して設けます。
 ・エントランスホールを南北に貫く2層吹抜けの「北欧モール」に面し、1階は東側に外来部門、西側に放射線部門が隣接、2階は東側に検査部門、西側に外来部門が面しています。

●断面計画

・3階の円弧状部分は一般病棟、北側に手術部門やICUがあり、おもに外科病棟と手術部門との連携がとりやすい配置となっています。
 ・4階は東側に内科系一般病棟、西側に一般病棟および産婦人科の分娩室が配置されています。

門、西側に外来部門が面しています。

・1階の円弧状の部分の西側は病棟となっており、診療部門との連携がとりやすいよう、おもに一般病棟が配置されています。

・2階の円弧状の東側は、人工透析部門、小児療育、リハビリ部門、精神科デイケアなどがあり、1階および2階の診療部門との連携がとりやすい配置となっています。また円弧状の西側は精神病棟が配置されています。

・3階の円弧状部分は一般病棟、北側に手術部門やICUがあり、おもに外科病棟と手術部門との連携がとりやすい配置となっています。

・4階は東側に内科系一般病棟、西側に一般病棟および産婦人科の分娩室が配置されています。

●断面計画

・メインの縦動線として患者用とスタッフ用・患者搬送用エレベーター

ホールを、病棟と診療棟の結節点に配置しています。おもに病棟患者はこのエレベーターを利用し、各階の入院患者・スタッフ用廊下を利用し、各検査諸室にアプローチできます。

・外来患者は正面玄関すぐ横にある外来専用エレベーターにより、2階の諸室にアプローチできます。

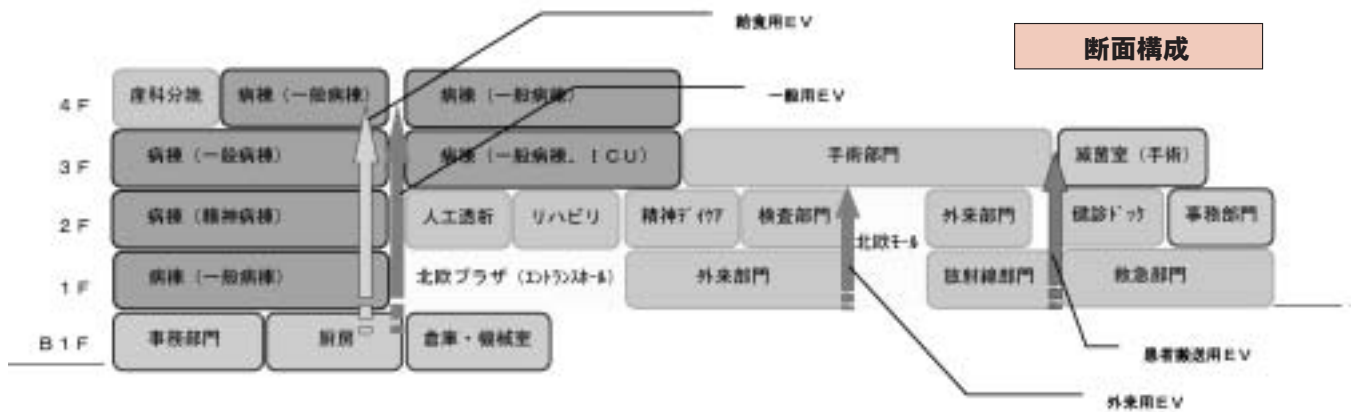
・メインのエレベーターは1階で救急部門、3階で手術部門に近く、緊急時の患者や搬送もスムーズに行えます。

エントランスホール「北欧プラザ」・総合待合・医事課

1階の東側車寄せから正面玄関を入ったエントランスホールを「北欧プラザ」と呼び、北欧の杜にある病院としての顔となる2層吹抜けの空間を創ります。

「北欧プラザ」は南北に展開する北欧モールと交差し、モールを中心とした各診療部門の配置がわかりやす

断面構成



いよう、見通しの良いエントランスホールとして機能します。正面玄関を背に「北欧プラザ」の正面左手には、総合受付・待合・医事課、左手奥には薬剤部門、正面奥には外来用エレベーターホールが配置され、患者にとって動線が明快となるよう、関係部門が配置されています。

各部門計画

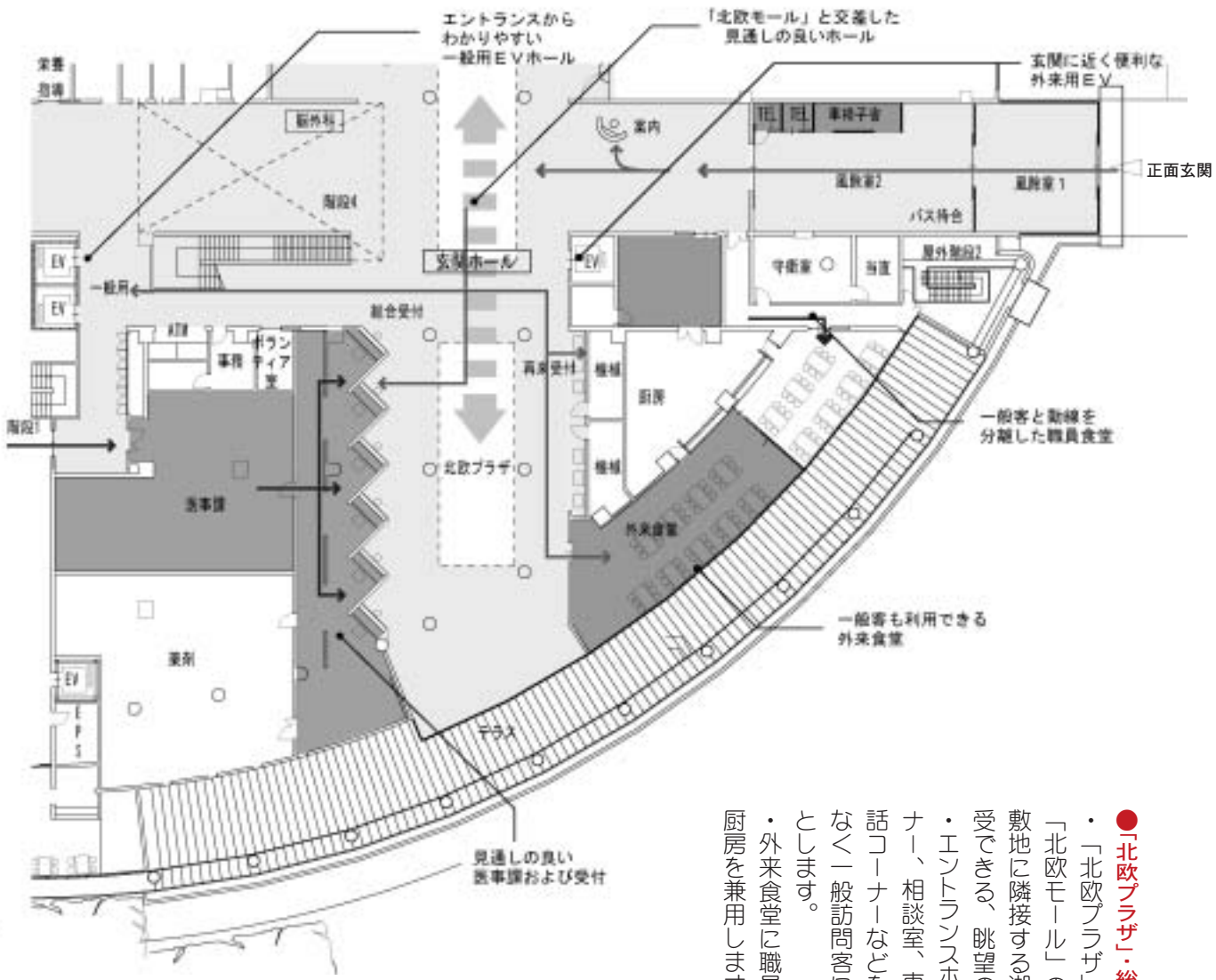
●配置と連携

・「北欧プラザ」と直行する「北欧モール」に診療部門を配置することにより、外来患者にとって部門配置が明快になります。

・正面玄関のすぐ横に外来用エレベーター、「北欧プラザ」の奥には一般用エレベーターホールを設け、外来患者や一般訪問客にわかりやすい縦動線配置とします。

・総合受付は正面玄関から分かりやすく、医事課のスタッフエリアからアクセスできる位置に配置します。

・医事課は階段室、スタッフ用エレベーターと近接させ、2階の事務管理部門と連携がとりやすくします。
 ・「北欧プラザ」の東南側に外来食堂を設け、総合待合機能だけでなく、施設の顔としてのエントランスホールのにぎわい空間を創ります。



1階 エントランスホール、医事課廻り

●「北欧プラザ」・総合待合・医事課の特徴
 ・「北欧プラザ」は南北に展開する「北欧モール」の軸線上に南へ開き、敷地に隣接する湖や豊かな自然を享受できる、眺望の良い空間とします。
 ・エントランスホールにはATMコーナー、相談室、車椅子スペース、電話コーナーなどを設け、患者だけでなく一般訪問客にも使いやすい施設とします。
 ・外来食堂に職員食堂を隣接させ、厨房を兼用します。